

## 第8回通常総会会長挨拶

令和元年5月28日（火）

一般社団法人青森県産業廃棄物協会第8回通常総会開催のご案内をいたしましたところ、多数の会員各位のご出席をいただき、厚くお礼申し上げます。

昨年度は、会員皆様のご協力を受けながら、精力的に各種事業に取り組んで参りました。その結果、いずれの事業とも順調に推進され、地域社会の期待と信頼に応えるとともに、協会に求められる社会的使命を果たすことができたものと考えております。改めて会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

さて、皆様すでにご存じのとおり、公益社団法人全国産業廃棄物連合会の名称が、昨年4月1日から公益社団法人全国産業資源循環連合会に変更になったところです。連合会では、この名称変更を機に産業廃棄物処理業の振興と循環型社会の形成に資する取組を進めているところであります。循環型社会の実現のため、産業廃棄物業界が担う役割は重要になっており、産業廃棄物を処理・処分する単なる「受け手」から、産業廃棄物から資源やエネルギーを製造する「創り手」へと変わっていくことが求められています。当協会も、循環型社会の構築に貢献していくという姿勢を内外に示すため、名称変更を行うこととして、本日の総会に議案として提案しておりますので、ご審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

ところで、少子高齢化が進む中で、産業廃棄物業界に限らずあらゆる業種において労働力不足が深刻化しています。一昨年、県が当協会会員を対象として実施したアンケート調査では、求人に対して応募がない又は応募が少ない、技術者・有資格者や若年層における人手不足を感じているという結果が出ています。人材確保・人づくりが大きな課題となっております。この課題への対応は協会だけの取組では困難であり、県をはじめとした行政、関係団体と連携して取り組んでいくことが必要です。現在、事務局段階で県との協議を進めていますが、会員皆様のご要望、ご意見を踏まえ、協会が一丸となって県との協議を進めていくことが肝要であります。会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

協会としては「地域社会と県民から信頼される青森県産業廃棄物協会」という理念をしっかりと継承しつつ、会員の皆様のご支援とご協力を頂戴しながら、諸課題に取り組んで参りたいと考えております。

本日の総会においては、本会の運営に功績が顕著であった功労者6名、産業廃棄物処理事業の発展に寄与した優良事業所4社、事業従事者として他の従事者の模範となる優良従事者7名の方々の表彰をさせていただきます。会員皆様とともにお祝いしたいと存じます。

最後に、本日の総会が円滑に運ばれますようご協力をお願いするとともに、会員皆様のご健勝とご繁栄を祈念申し上げ、開会に当たってのご挨拶といたします。